

(誤嚥性肺炎に対する歯科関連職種的重要性) に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年4月9日～2021年12月31日

〔研究課題〕

歯科関連職種のかかわりが誤嚥性肺炎患者の経口摂取予後に与える影響

〔研究目的〕 誤嚥性肺炎で入院された患者様に対し歯科医師や歯科衛生士がかかわることで口から食べる能力の回復が促進されるかどうかを検討することを目標とします。

〔研究意義〕

誤嚥性肺炎診療における歯科関連職種のかかわりの重要性を明らかにします。

〔対象・研究方法〕

対象：2018年1月～2019年12月末までにリハビリテーション科が関わった食べ物を口から食べることが困難となった誤嚥性肺炎患者様です。

研究方法：年齢、性別、身長、体重、入院中の食事、日常生活自立度、併存疾患、口腔衛生状態、退院時の経口摂取状況等をさかのぼって調査し、歯科関連職種がかかわった患者様とそうでない患者様とで、口から食べる能力を比較します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション部

〔個人情報の取り扱い〕

個人が特定できるような情報は含みません。入手した情報は帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。なお、ご自身の検査結果を研究へ使用することに賛同されないとしても、どれがだれのデータかわからないため、対応困難です。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション部 言語聴覚士 中村 美佳子

研究分担者：帝京大学医学部附属溝口病院 リハビリテーション科 准教授 百崎 良

住所： 神奈川県川崎市高津区二子 2-1-1 TEL： :044-844-3333(代表)〔内線 3254 〕